

パブリック・サービス研究分科会 夏期研究合宿 グループ討議録

2006年8月22日(火)、23日(水) 文化学園軽井沢山荘

グループ (4)	進行	・ 阿部尚子	(清泉女子)	大学
	記録	・ 椎名ちか子	(明治学院)	大学
	発表	・ 小松泰亮	(東京家政学院)	大学
	・		()	大学
	・		()	大学

テーマ： 図書館評価

このテーマを選んだ理由

- ・自分の所属している図書館を知るため
- ・評価によって出された結果から、自館の問題点を知り、改善につなげたい。

A. 参加大学の統計から2つの項目について評価指数を出してみる。

1 蔵書新鮮度 (受入冊数 ÷ 蔵書冊数 * 100)

平均 2.7% (最大値5.5%、最小値1.7%)

2 蔵書回転率 (貸出のべ冊数 ÷ 蔵書冊数 * 100)

平均 6.6% (最大値 10.4%、最小値2.8%)

B. 各評価指数に影響をもたらす要因を考える。

1 蔵書新鮮度

- ・予算総額
- ・資料種別予算額

2 蔵書回転率

- ・貸出期間
- ・貸出冊数
- ・開館時間
- ・書誌目録データ作成件数

<今後の課題>

今回は蔵書新鮮度と蔵書回転率の2点について評価を行ったが、ひき続き、パブリックサービス研究分科会参加館について多方面から評価を行っていきたい。また、今回評価指数を出すにあたって、統計数値の計上条件が異なる大学もあった為、できるだけ精度の高い評価指数をだせるよう考えていきたい。